

佳作

おとうとが生まれた日

愛媛県 大洲市立大洲小学校二年 浮田 恭佑

きよ年の九月十四日に赤ちゃんが生まれました。ぼくにとっては、二人目のおとうとです。

赤ちゃんにはじめて会う日は、パパと、じいちゃん、ばあちゃんと、おとうとのしゅんすけと、たあくんといっしょに、びょういんに行きました。まつ山のびょういんにつくと、ぼくはとてもどきどきした気もちになりました。エレベーターで五かいに上がり、ほそいろう下に入ると、まどのむこうにママと赤ちゃんがいました。かべにあったでん話でママとお話しをしました。ママに、

「元気？」

と聞いたら、

「赤ちゃんもママも元気だよ。」

と言いました。赤ちゃんは、すごく小さくてびっくりにしたけれど、元気であれしかったです。ママも、ひさしぶりに会えたので、うれしかったです。じい

ちゃんとは赤ちゃんは赤ちゃんをみて、

「かわいいね。」

と、うれしそうになん回も言っていました。ぼくは、赤ちゃんがすごくかわいくて、みんなにじまんしたくて、じいちゃんにたくさんしゃべるとどうがをたってもらいました。一人目のおとうとが生まれたときのこと、あまりおぼえていないけれど、二人目のおとうとが生まれたときの、うれしい気もち、いっしょにわすれませぬ。ぼくが生まれたときも、みんながおで、よろこんでくれたのかなあと思うと、こころがぼかぼかになりました。赤ちゃんの名前は、ぼくが考えた名前を、パパもママも、

「いい名前だね。」

と言ってつけてくれました。

とても小さかったおとうとは、ミルクをたくさん飲んで、どんどん大きくなりました。ぼくが、おとうとの名前をよぶと、いつもにこにこわらってきてくれます。ぼくがあやすと、いっばいわらってくれます。いたずらされて、こまることもあるけれど、早くおとうとが大きくなって、いっしょにお話ができるようになりたいです。

もうすぐ、しゅんすけとりょうすけ二人のおとうとのたんじょう日です。家ぞくで、やき肉とケーキ

で、おいわいをしたいです。